

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 就職氷河期世代IT資格取得支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 労働雇用課 就職氷河期世代支援係 電話番号：058-272-1111(内3664)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,600 千円 (前年度予算額：13,600 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,600	10,174	0	0	0	0	0	0	3,426
要求額	13,600	10,174	0	0	0	0	0	0	3,426
決定額	13,600	10,174	0	0	0	0	0	0	3,426

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

いわゆる就職氷河期世代は、現在、概ね30代後半から50代前半に至っているが、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。

全ての世代の人々が希望に応じて意欲・能力を活かして活躍できる環境整備を進める中、R2～R4年度に集中的に取り組んできた就職氷河期世代の就労等の支援について、国の「経済財政運営と改革の基本方針2022」において、R5～R6年度までの2年間で第二ステージと位置づけ支援を実施し、成果を積み上げることとされた。

(2) 事業内容

就職氷河期世代の正社員就職を促進するため、IT資格の取得へ向けたオンライン講座(e-ラーニングとライブ配信授業の組み合わせ)を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担 3 / 4 (地域就職氷河期世代支援加速化交付金充当予定)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル評価委員謝金
旅費	22	プロポーザル評価委員旅費
会議費	1	
役務費	12	
委託料	13,533	オンライン講座費用、就職支援費用、HP作成運用費
合計	13,600	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

国

- ・経済財政運営と改革の基本方針2019 (就職氷河期世代支援プログラム)
- ・厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン
- ・経済財政運営と改革の基本方針2023

県

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略

(2) 健やかで安らかな地域づくり (2) 安らかに暮らせる地域 ④雇用・企業活動の維持再生)

(2) 国・他県の状況

- ・秋田県「人材投資促進事業 (スキルアップ支援)」
就職氷河期世代を含む全世代対象に、資格取得のほか、基礎的なビジネスマナーやITスキルの取得のための、e-ラーニングによる講座を実施。

(3) 後年度の財政負担

経済財政運営と改革の基本方針を踏まえ検討

(4) 事業主体及びその妥当性

就職氷河期世代の正社員化を促進するために、県として実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 就職氷河期世代を含めたすべての世代が希望に応じて就労・活躍できる環境を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
① 資格取得講座 受講者数		50人	50人	100人 (R5-R6の 累計)	
② 就職氷河期世 代（35歳～49 歳）の正規雇用就 職者数	92人	110人	110人	220人 (R5-R6の 累計)	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	6か月間のe-ラーニングとライブ配信授業を組み合わせオンライン講座を実施し、30名の就職氷河期世代の方が受講した。 指標① 目標：30人 実績：30人 達成率：100 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	職業能力開発の機会に恵まれていないとされる非正規雇用や無業の就職氷河期世代に対し、能力開発の機会を提供する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	応募定員を確保しており、不本意ながら非正規や無業の方の支援につながっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 1	一度に多くの方が受講できるオンライン (e-ラーニング) で講座を開催することで、実施方法の効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 就職氷河期世代で長期にわたり希望外の就業や無業の状態にある方が直面する、就職、職業的自立の実現に向けた困難さ、複合的な課題を踏まえた対応が必要。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 就職氷河期世代の正規就職を支援するため、今後も当該世代のニーズを踏まえながら、より多くの方への支援に取り組む。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	
--	--